

船引・小野統合校 に関する説明会

日時：令和6年11月13日（水）18：30～19：30
場所：田村市文化センター

日時：令和6年11月19日（火）18：30～19：30
場所：小野町勤労青少年ホーム 小ホール

福島県教育委員会

本日の次第

1	開会
2	主催者あいさつ
3	資料説明
4	質疑応答
5	諸連絡
6	閉会

本日説明する内容

1	統合校の方向性について
2	統合校の教育内容について
	(1) 総合学科の系列について
	(2) 特色ある取組について
3	通学費支援について
4	校舎方式と今後のスケジュールについて

1 統合校の方向性について

船 引 高 校

定員 80名
○普通科(2学級)

小 野 高 校

定員 80名
○総合学科(2学級)

令和8年4月開校予定

船引・小野統合高校

定員：**総合学科 160名(4学級)**

場所：船引高等学校の校舎（本校舎）

小野高等学校の校舎（小野校舎）

※小野校舎は令和8～9年度のみ使用



高等学校の学科について

		特 色	福島県立高等学校において設置している大学科
普通科		各教科をバランスよく学習し、進路に応じた課題を探究しながら、幅広い教養を身につける学科	
専門 学科	普通 系	理数や国際、スポーツ、芸術など、興味・関心のある分野について専門的に学習し、探究活動等をおして専門性を高める学科	理数科、文理科、国際文化科、体育科、美術科、国際科学科、探究科
	職業 系	専門的内容の基礎・基本を身につけ、各分野における課題を探究し、スペシャリストとしての教養を身につける学科	農業科、水産科、工業科、商業科、家庭科
総合学科		普通教育及び専門教育の教科・科目から興味・関心に基づいて選択して幅広く学習し、総合的に探究することで、自己の能力を高める学科	

福島県教育委員会ホームページより

総合学科

個性を生かした主体的な学習・
自己の進路志望を深める学習を重視

幅広い選択科目から
自分で選択

自分の時間割を
つくる



「幅広い科目の中から選んで学ぶ総合学科」
パンフレット表紙（文部科学省作成より）

総合学科の学びと育てたい生徒像

「産業社会と人間」
「総合的な探究の時間」
「課題研究」 など

- 高いコミュニケーション力をもつ生徒
- 多様な他者と対話し協働できる生徒
- たくましく自分の人生を切り拓く生徒

教育目標

- (1) 幅広い領域の知見を総合的に理解し、新たな価値を創造できる**学力の育成**
- (2) 主体的・協動的に考え、行動できる豊かな**人間性の育成**
- (3) 幸福で活力ある人生の基盤となる**健康・体力の育成**
- (4) 地域と連携・協働し、地域づくりに積極的に取り組む**社会性の育成**

教育方針

自ら学び考え行動する**主体性**を持ち、広い視野、自由な
発想から**他者とともに新しい価値を創造**し、豊かな社会
・地域づくりに貢献する人材の育成を図る。

校訓

自律 明朗闊達 共創

統合校の教育内容について

2

(1) 総合学科の系列について

(2) 特色ある取組について

生徒の幅広い進路希望や生徒の学習ニーズに対応した教育活動の充実

- ・ 国公立をはじめとする4年制大学・短期大学、看護・医療系専門学校への進学
- ・ 各種専門学校への進学
- ・ 民間企業への就職、公務員



オールインワン高校



文理探究系列



- ・主に**5教科**（国・数・英・理・社）を中心に学ぶ。
- ・進路希望に応じて科目を選択することで、進路実現に必要な資質や教養を身につける。

特徴

- ・「論理国語」等で論理的思考力や表現力を高める。
- ・探究や演習を通して、課題解決能力を養う。

取得可能な資格

- ・実用英語技能検定
- ・日本漢字能力検定 など

進路

- ・4年制大学（文系、理系）・短期大学（文系、理系）
- ・専門学校（語学系、看護医療系など）

プロフェッショナル系列（食農・6次化分野）



- ・作物栽培や食品製造に関する基礎的、基本的な知識と技術を身につける。
- ・地域の農作物による**6次化商品開発**に取り組む。

特徴

- ・学校設定科目「スマート農業（仮称）」では、発展的な学習に取り組み、専門性や実践力を高める。

取得可能な資格

- ・食品衛生責任者 ・日本農業技術検定
- ・危険物取扱者 など

進路

- ・企業への就職（製造業、サービス業など）
- ・4年制大学（農学部など） ・農業大学校 など

プロフェッショナル系列 (情報技術分野)



- ・コンピュータを用いたプログラミングや物を制御する基礎的、基本的な技術を身につける。
- ・情報技術を生かした他分野との連携が大きな特色。

特徴

- ・「工業技術基礎」や「実習」などを通して、体験的なものづくりに取り組む。

取得可能な資格

- ・情報技術検定
- ・計算技術検定
- ・パソコン利用技術検定 など

進路

- ・企業への就職（製造業、電気通信業など）
- ・4年制大学（工学部、理工学部など） など

プロフェッショナル系列 (ビジネス分野)



- ・簿記、情報処理、流通の学習を通じて、ビジネスに関する基礎的、基本的な知識と技術を身につける。
- ・データの整理や抽出、解析等に取り組む。

特徴

- ・資格取得を目指すカリキュラム。
- ・「観光ビジネス」では地域の観光資源などを探究。

取得可能な資格

- ・情報処理検定
- ・ビジネス計算実務検定
- ・簿記実務検定
- ・ビジネス文書実務検定

進路

- ・企業への就職（事務、販売・営業など）
- ・4年制大学（経済・経営学部、商学部など） など

プロフェッショナル系列 (福祉・保育分野)

- ・福祉、保育に関する基礎的、基本的な知識と技術を身につける。
- ・より良い人間の生き方や尊厳などの学びを通じて、地域福祉と持続的な福祉社会の発展を担う人材を育成。

特徴

地域の福祉施設や保育施設と連携した実践的な学び。



取得可能な資格

- ・家庭科保育技術検定 など

進路

- ・企業への就職 (介護職など)
- ・4年制大学 (社会福祉学部、家政学部など) など

個に応じた丁寧な学習指導及び進路指導

● 適性を見極めた進路指導

教職員による面接・個別相談

就職促進支援員
ハローワークとの連携

上級学校や企業の情報
収集

「産業社会と人間」

自己の特性や夢など、
自分自身を見つめ直す
ことを通して、**進路希望**
を見定める。

授業の中でも徹底した
「キャリア教育」を実践

モデルプラン の設定

各分野を深く、かつ系統的
に学ぶことができる科目
の組合せを、科目選択
の推奨モデルとして設定

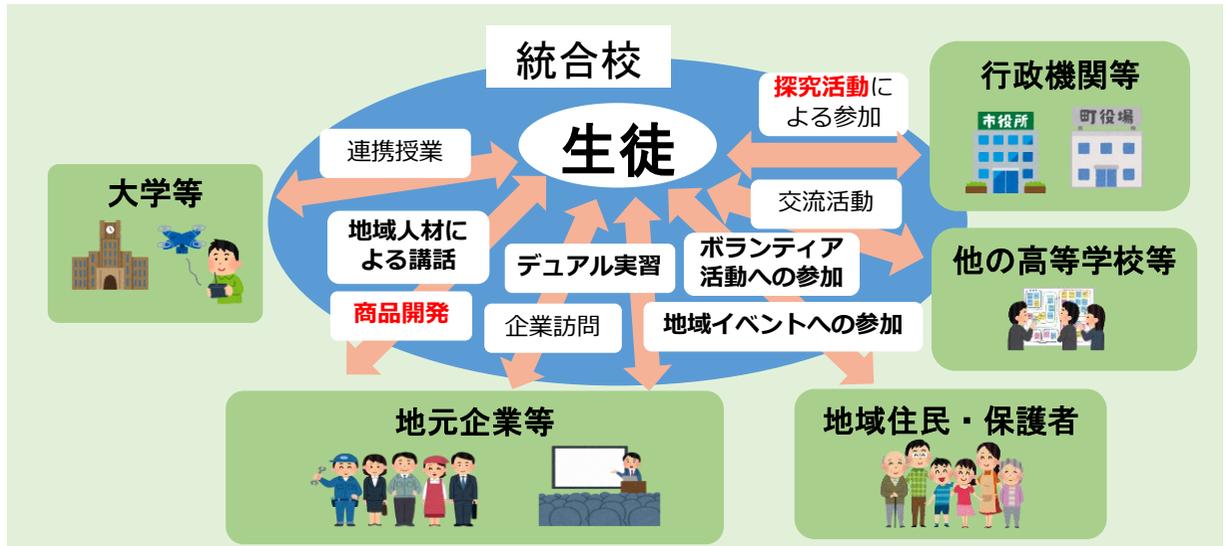
進路 実現

個別最適化された学び

- ・ICTの活用
- ・習熟度別授業
- ・チームティーチング授業
- ・個別指導 など

● きめ細かな学習指導

両地域の自治体や地域企業等との連携



デュアルシステムの実践

- 体験的な学習を通し、豊かな人間性・社会性とチャレンジ精神を備えた人材の育成
- プロフェッショナル系列において、田村市・小野町の両地域の企業等を受入先として実施



統合校で設置予定の部活動

運動部

剣道
 硬式野球
 サッカー
 ソフトテニス
 卓球
 バasketボール
 バドミントン
 陸上競技 など

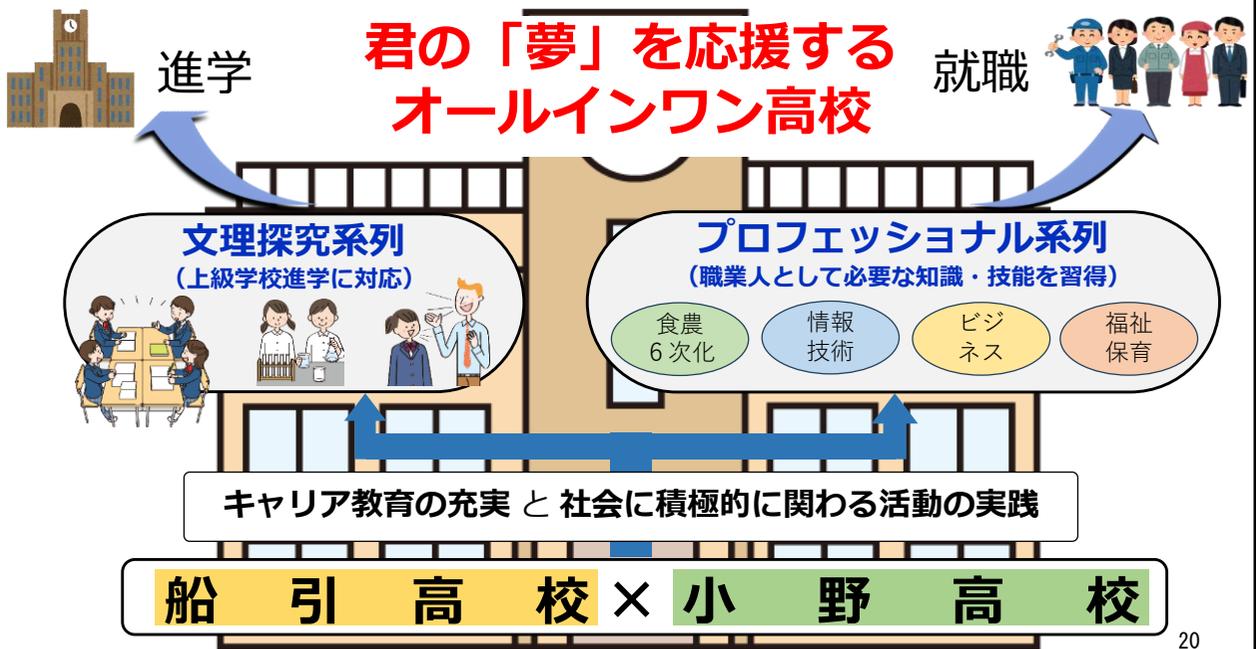


文化部

吹奏楽
 ドローン科学探究
 美術
 よさこい
 など



※統合後、本校舎、小野校舎の両方で活動がある部活動は、週末に合同練習をするなど工夫して練習することを検討しています。



3 通学費支援について

通学費支援について

通学費支援とは

県立高等学校の統合によって、遠距離通学や自宅外通学となる生徒を対象に、通学にかかる費用の一部を支援する制度です。

令和4年度より事業開始。

船引高校と小野高校の統合校にも導入する方向で現在調整中。

支援の対象について（R4導入の制度より）

県立高等学校の統合により、**校舎を使用しなくなる高校を最寄りの高校としている中学校**が支援の対象となります。

具体的な対象中学校は、現在調整中です。

通学費に関する支援 ※R4からの制度より

1 対象

対象中学校の生徒の中で、バスや電車の公共交通機関に乗り、定期券を利用して、船引・小野統合校に通学する生徒。

2 内容

6ヶ月間の通学費のうち、**30,000円を超えた額の2分の1**を支援することで現在調整中。

※**住民税非課税世帯**は**30,000円を超えた額の4分の3**を支援することで現在調整中。

※支援額については、**6ヶ月定期券の額を基準**に算定します。

<具体例> 6ヶ月定期券が40,900円の場合 ※JR磐越東線（小野新町駅～船引駅）
 $(40,900 - 30,000) \div 2 =$ **支給額 5,450円**（非課税世帯の場合は 8,175円）

「福島県奨学資金」の貸与に関する支援

・奨学資金制度とは

奨学資金を貸与することで、経済的理由により修学困難と認められる者を支援し、修学を可能にする制度です。

・「福島県奨学資金」の貸与月額

県立高校に3年間通う場合…	自宅通学	貸与月額	18,000円
	自宅外通学	貸与月額	23,000円

・支援対象者について

対象中学校から対象となる統合校に入学する生徒。

・支援内容について

貸与条件を「勉学に意欲があり、学業を修了できる見込みがあると出身中の学校長が判断する者」とし、**学力要件を除外**します。

4

校舎方式と今後のスケジュールについて

校舎方式とは

統合する2校を統合時に一方の校舎に集約するのではなく、生徒が統合前に入学したそれぞれの高校の校舎で卒業まで学ぶことができるようにする学校の運営方式。



現在の中学2年生が

高校 **1** 年生のとき

高校 **2** 年生のとき

高校 **3** 年生のとき

本校舎

1年 **みなさん**

2年 元船引高生

3年 元船引高生

1年 R9年度入学生

2年 **みなさん**

3年 元船引高生

1年 R10年度入学生

2年 R9年度入学生

3年 **みなさん**

小野校舎

2年 元小野高生

3年 元小野高生

3年 元小野高生



交流会、合同行事
を実施



令和6年度			令和7年度												令和8年度	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
校名発表			ポスター・パンフレットの配布												入学者選抜	開校式 入学式
			中学校での高校説明会	体験入学												

事前に頂いた御質問



Q 小野町から統合校までのスクールバスは出ないのでしょようか。

A 小野町を含め、統合校に通学する生徒を対象としたスクールバスを運行する予定はありませんので、スライドの22、23で説明した通学費支援制度の活用をご検討ください。

船引・小野統合校 に関する説明会

本日はご来場いただきありがとうございました。
統合校の開校に向けて、参考といたしますので
アンケートへのご協力をお願いします。

なお、ご家族で参加された場合は、代表者様だけ
でなく、それぞれでの回答をお願いします。

アンケートの回答は、こちらの二次元コードから



福島県教育委員会